

デモ機器の紹介

当院では、TCスキャンという機器をデモ機として使用することができます。



TCスキャンでできること.

①文字入力

50音表や定型文を用いて、自分の伝えたいことを入力します。



文章表示欄



文字入力欄

文字入力を行うと上記に表示されます。文字の他に使用頻度の高い文章を定型文として保存しておくこともできます。例えば、「あ」と入力すれば使用頻度の高い言葉が出てくるので選択すればOKです。

TCスキャンでできること.

②インターネットの使用

インターネットが使用できる環境であれば、Yahoo!やGoogleにて検索もスムーズに可能です。

③LINEやYouTube

ご家族やお友達とLINEを使用してコミュニケーションやYouTubeでの動画を視聴することも可能です。

スイッチの紹介

TCスキャンの操作は、スイッチを用いて行います。

①押しボタン型スイッチ



操作時にカチ、カチというような感触がある。



画面を見ながら、ボタンを押して操作します。

②クッション型スイッチ



エアバッグに触れることで反応し、僅かな力で操作可能です。

③ポイントタッチスイッチ



指、頬、顎等にて操作し、接触部に触れることで操作します。



僅かな頬の動きや首の動きで操作ができます。



椅子や車椅子、ベッドに設置が可能です。

④視線入力型スイッチ

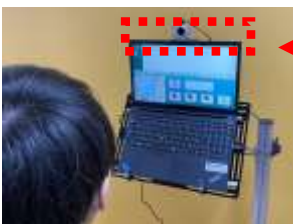


視線の動きをカメラ(センサー)で捉え、操作を行います。



メガネをしてても視線入力は可能です。
数十分の練習である程度の操作は可能となる方が多いです。

⑤ヘッドマウスナノ



頭部の動きをカメラ(センサー)で捉え、操作を行います。

機器練習の流れ

①身体機能の検査

機器練習を行う前に筋力や関節の動きの検査をします。
機器を使用する上では必要な検査であり、筋力や関節の動きに応じてスイッチを選定していきます。

②姿勢の検討

機器を車椅子座位にて行うのか、ベッド上にて行うのかを決定します。
車椅子に長時間座ることが疲れるのであれば、ベッドにて操作する練習を行っていきます。

③機器の練習

機器の練習はリハビリ場面にて行います。
リハビリ場面にて操作に慣れてきたら、実際に病棟にて使用していきます。
その際に不都合なことがあれば、リハビリ場面にて再度練習したり、スイッチや使用時の姿勢等を検討していきます。

練習することで操作は可能となりますので、一緒に気軽に練習していきましょう。

機器購入の流れ

①業者の選定

機器の操作に慣れ、購入をご希望となれば業者を選定します。
入院中、自宅での生活においてもフォローできる態勢を作ります。

②費用等の説明

機器は高価なものですが、補助を受けることができます。
所得等にて異なりますので、ご相談いただければと思います。

③購入後のフォローアップ

購入後は、業者がフォローアップしていくこととなりますが、治療のため当院へ入院される際には、困っていることがあればご相談していただければ対応いたします。

「使ってみたい」と思われたときに、いつでも言っていただければと思います。